

窒化物半導体パワー・デバイスの性能の
革新的向上と製品化のための原動力となる。

窒化物半導体を核に、新しい技術や価値を創造する
工学のイノベーションハブの役割を担う。

実用化研究を通して、
産業界をリードする社会人を育成する。

海外の研究機関・企業との交流を強力に推進し、
グローバル工学イノベーションハブを目指す。

窒化物半導体マルチビジネス創生センター

名古屋工業大学

名古屋工業大学は、ものづくり、ひとづくり、未来づくりを理念とし、1905年創立以来、常に社会と産業界の要請に応え、新たな産業と文化の摇籃として革新的な学術・技術の創造と実践的工学エリートを育成し当地域産業の発展に貢献してきました。

この理念に基づき、半導体材料・デバイス・システム分野において20余年にわたり築き上げた目覚ましい成果を革新的な省エネ、小型・軽量化へ拡充し、迅速に実用化することによってエネルギー問題や環境問題の解決に貢献することを目指した「窒化物半導体マルチビジネス創生センター」を2013年9月新設いたしました。産学官連携において日本初となる本格的コンカレントマネジメントを実施するセンターです。

本センターは、多くの企業とともに社会的・地球規模的課題解決に対して協調し、互いに知恵を共有すると同時に、お互いが競争原理を働かせることによって革新的な技術・価値を創出する「工学のイノベーションハブ」の先駆けとしての役割を担います。

また、イノベーションハブの重要な機能として、企業派遣技術者・研究者のスキルアップにも積極的に取り組み、産業界において更なる技術の開発と革新を牽引する人材を育成いたします

